

令和 5 年度研究推進計画

学校名 江田島市立中町小学校校長名 上本 真理

1 研究主題，研究内容・方法等について

①研究主題 「探究的な学びが生まれる生活科・総合的な学習の時間の在り方」
～なかまち☆未来につながるプロジェクト～

② 主題設定の理由

本校は、広島県教育委員会より「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定を受け、今年度で3年目を迎える。プロジェクト型学習（PBL）の考え方を基にして、「探究的な学び」となるよう単元計画を工夫し、授業改善に向けて取り組んでいる。昨年度は、単元構想図を使って、現在の探究活動の状況やゴール（目的意識）を確認することで、これまで情報収集してきたことを整理・分析する必要性を引き出すことに努めた。児童は次々に出てくる新しい課題を解決し、自分達の思いを実現するために、主体的に考えたり、行動したりする姿が多く見られるようになってきた。また、情報収集や分析について、インターネットや本・図鑑で調べ、自分で調べても分からないことは、地域と関わり、つながりながら課題を解決するよう促すことにより、協働的に1つの新しいものを創り上げようとする主体性が次第に向上していった。さらに、情報を整理・分析する過程で ICT を活用することで、比較、分類、関係付けなどの「思考」を促す活動を仕組むこともできた。

しかしながら、能美中学校区で、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力である相手を意識した「伝え合う力」については依然として本校の課題であり、継続して育成に向けて取り組んでいく必要がある。「自分の考えを場面や状況に合わせて、分かりやすく相手に伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。」と回答する児童は 89.7%で、自己評価は低い数値ではない。しかし、実際の授業における教師の活動観察や見取りでは、発信時の状況や発信相手を想定した効果的な表現方法の工夫を十分に吟味しきれていないと評価している。このことから、効果的に伝えるための表現力を向上させるための指導や評価力に課題があると考えられる。

そこで、今年度は、3観点のバランスの取れた力の育成を図りながら、既習のことを活用できる単元構想をもとに、研究を進めていく。

③研究仮説

生活科及び総合的な学習の時間において、プロジェクト型学習（PBL）の考え方を基にした単元構想を工夫するとともに、教師による児童の見取りを生かし、3観点の学力をバランスよく育成すると「伝え合う力」「主体性」が向上するだろう。

④研究内容

○児童と一緒に創るプロジェクト開発

児童が実生活・実社会の課題に本気で向き合い、社会へ還元することを目指すプロジェクトを開発するとともに、教科横断的な学びとなるカリキュラム・マネジメントにより、児童が夢中になる探究的な活動を工夫し、「主体性」の向上をめざす。

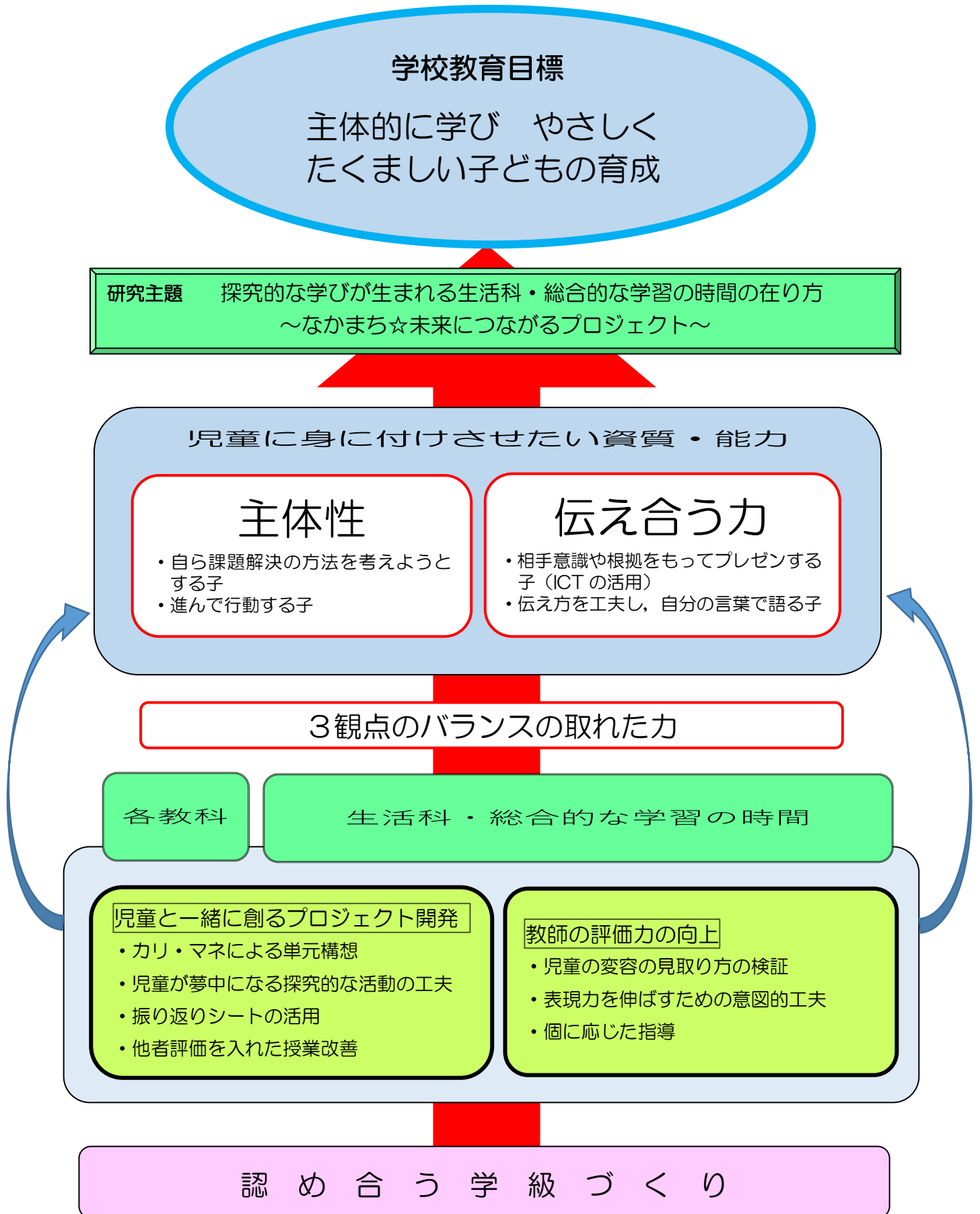
○教師の評価力の向上

児童が熱中し、本気になって探究していくためには、教師側のファシリテーターとしての役割が重要である。児童の変容を見取り、既習を生かし活用できるよう指導方法を工夫することにより「伝え合う力」の向上をめざす。

2 検証計画

	研究内容	検証の視点	達成目標
児童と一緒に創るプロジェクト開発	・カリ・マネによる単元構想 ・児童が夢中になる探究的な活動の工夫 ・振り返りシートの活用	・江田島市標準学力調査における同一集団の変容 ・各種コンクールに主体的に応募する児童の割合 ・振り返りや発言内容の変容	目標値との差が昨年度を上回る 70%以上 記述や発言の内容に深まりがある 児童 90%以上
教師の評価力の向上	・児童の変容の見取り方の検証 ・表現力を伸ばすための意図的工夫	・アンケートを教師と全学年児童で実施。(年2回)	教師の見取り 85%以上 児童 90%以上

研究構想図



3 校内研修計画

月		研究内容	月		研究内容
4	18 (火)	全国学力・学習状況調査	9	7 (木)	ブロック研
	22 (土)	研究概要周知		25 (月)	研究授業④ (4年)
	8 (月)～ 12 (金)	意識調査① (児童アンケート)	10	12 (木)	指導案検討
10日	ブロック研 (低・中・高) 単元構想図	23 (月)		研究授業⑤ (2年)	
5	18 (木)	アンケート結果周知 生活・総合の単元構想 評価について	11	7 (火)	指導案検討・評価の仕方
	25 (木)	研究授業① (6年)		17 (金)	能美中学校校区研究会 (3年) (1年)
6	13 (火)	指導案検討・評価の仕方	12	29 (水)	まとめについて
	27 (火)	研究授業② (5年)		7 (木)	研究授業⑦ (ひまわり)
8	4 (金)	理論研修	1	13 (金)	江田島市標準学力調査
	27 (日)	指導案検討・模擬授業		15～ 24 (水)	意識調査② (児童アンケート)
			2	29 (月)	アンケート結果周知
				上旬	標準学力調査分析
				8 (木)	研究のまとめ 次年度に向けて

4 研究公開の予定について

公開予定日	令和5年11月17日
タイプ	普及型
公開範囲	能美中学校校区
公開内容等	探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業指定校 教科：生活科及び総合的な学習の時間

※タイプについては、校内研修ハンドブック（広島県教育委員会 平成15年3月）を参照。